

第3回 大阪フォーリン・ビジネス・ネットワーク・クラブ 概要

- 1 日時 平成21年12月10日(木)午後1時30分から午後3時30分
- 2 場所 阪急グランドビル26階会議室
梅田阪急ビル
- 3 出席者 関西の外資企業のトップ、在阪の海外領事館・商工会議所のメンバー 31人
大阪市長

4 開催内容

(1) 挨拶 (大阪市長 平松邦夫)

(2) 講演

「阪急電鉄が描く梅田の新たな街づくりについて ~梅田阪急ビル建替計画等のプロジェクト~」

(阪急電鉄株式会社 取締役 諸富隆一)

(3) 梅田阪急ビル見学

5 主な質疑応答内容

梅田阪急ビルの建替えに際し、環境面ではどのような配慮がなされているか。

梅田阪急ビルについては、最新鋭のビルということで、一定の配慮をしており、CASBEE 大阪(大阪市建築物総合環境評価制度)という認証にてSクラス(最高レベル)の評価をいただいている。これからの時代にはカーボンニュートラルが理想ではあるが、なかなか難しいことでもあるので、街全体で環境に関する取組みを継続していきたいと考えている。

梅田阪急ビルのオフィススペースは来年4月に完成とのことだが、どの程度の需要があると思われるか。

現在、入居の可能性のある企業の方々と交渉中であり、現時点で何パーセントの見込みかと申し上げるのは難しく、日々状況が変化するので、詳細は控えさせていただきたい。

現在大阪の賃貸オフィス市況は低迷しているが、中長期的に大阪でオフィスを考えているのであれば、これほどの一等地にこれだけの良いスペックのビルがリーズナブルに賃貸いただける機会はなかなか無く、入居者にメリットの高い時期である。

海外からの企業様がこのビルに入居された場合、「梅田のこのビルだ」と言っていたら、関西圏では多くの説明を要さず、すぐに認識していただけたらと思う。

海外からの訪問客に対する大阪（梅田）の魅力は何か。

商業施設に関して言えば、歩いて回れるエリアの中にこれほどの商業施設が密集している地域は日本では他にはないという点が、ひとつの観光地点として訴えることができるのではと考えている。

海外からのお客様は歩きづらく、迷いやすいところは避けるという傾向があり、どうしてもミナミなど平面で歩きやすいところに行きがちのようであり、梅田は魅力的だが地上歩きは困難と思われるところからか、その魅力をあまり知られていないように思う。それをふまえ、3つの鉄道会社共同で地図を作成するといった取組みもしており、徐々に認識していただけるようになれば、と思っている。